

## 開催レポート

実施日：2024/4/29

講習会名：JTU 登録審判員向け パラトライアスロン勉強会&SEA(Swim Exit Assistant)・審判技術講習会

参加申込者：29名

当日参加者：28名

スタッフ：5名(パラトライアスロン委員会(浜田、鷲塚、片倉よし、片倉あ)、技術委員会(前田))

実施内容：

- ・パラトライアスロン基礎講習 / 1時間
- ・障がい者の語りおよびSEA体験トレーニング / 1時間
- ・バイクコース技術講習 / 1時間

はじめに、JTU パラトライアスロン・マニュアル V3 をベースに、登録審判員の方が現場に必要なパラトライアスロンの知識概要を抜粋し、パラトライアスロン基礎講習。その後、障がい者本人からの障がいに対する情報共有することにより障がい者にはたくさんのパターンがあることを理解いただいた。その上で、SEA の体験トレーニングを座学にて実施。さらに 3 限目として、バイクコースの設営について簡易的な実践トレーニングとして競技用車椅子が走る想定でのランコース設置をテストケースとして提供。2 チームに分かれてコース設営を検討し、実際に海の森会場内のコーンと会場を利用し、コースを設置。構築したコースを利用してそのコースにて参加者数人に競技用車椅子に実車いただき、コース内を実車してもらうことで選手の視点などを体感できるように講習内容を組み込んだ。その後、講習内容の評価としてコース設置の考え方について座学を実施し講習内容全工程を完了とした。

企画者感想：参加者の70%以上は第3種審判員であり、下記アンケート結果にもあるように参加者の満足度は高評価であることから登録審判員の知識向上やモチベーションアップならびに帰属意識の向上に、一定数貢献できたと推測する。

今後も定期的にこのような座学と実地訓練を織り交ぜたトレーニングや講習会を企画し、登録審判員のトライアスロンおよびパラトライアスロンのルール理解や技術的側面の理解を促し、登録審判員のエンゲージメント向上に取り組みたいと考える。



▼講習風景

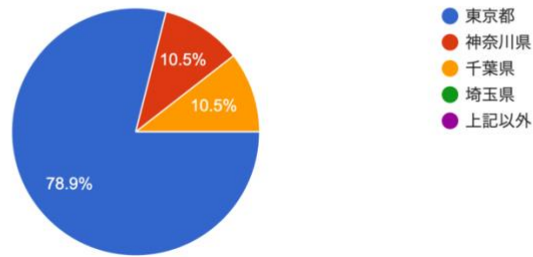


## ▼参加者アンケート結果

※ 満足度やポジティブの指標について：数値が高いものが満足度が高い数字となる

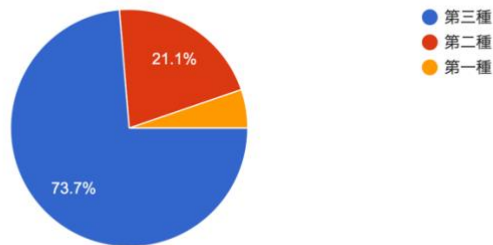
### 所属

19件の回答



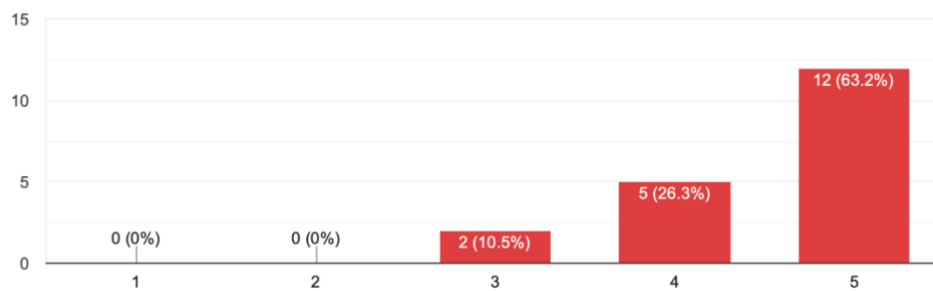
### 審判員レベルをご教授ください

19件の回答



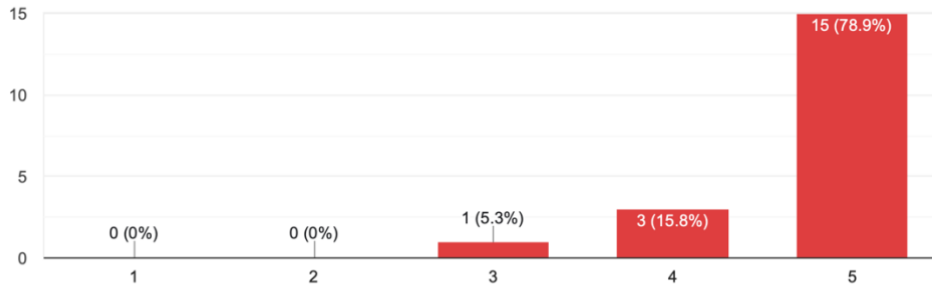
### イベントにはどのくらい満足されましたか。

19件の回答



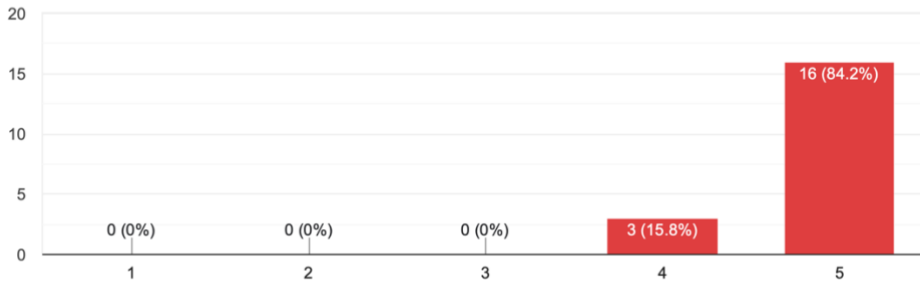
パラトライアスロン基礎講習の内容は理解できましたか？

19件の回答

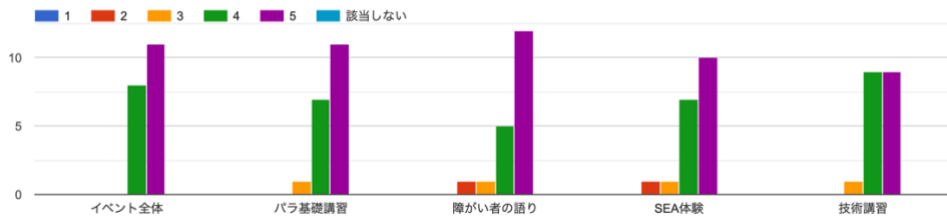


技術講習会の内容は今後の審判員活動に役立ちそうですか？

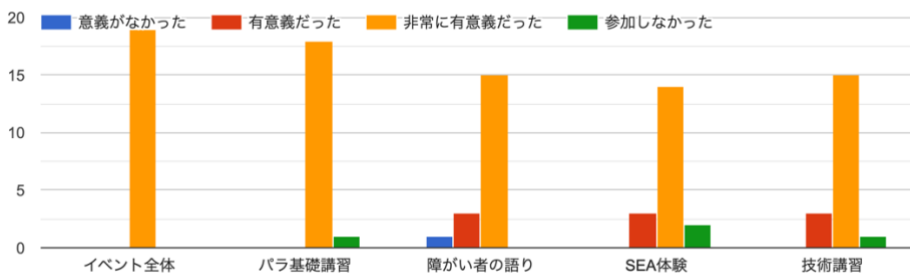
19件の回答



このイベントに関する以下の項目について、どのくらい満足されましたか。

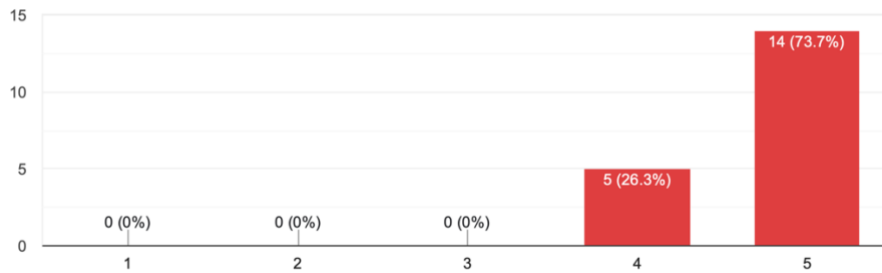


以下の各セッションは、どのくらい有意義だと感じましたか。



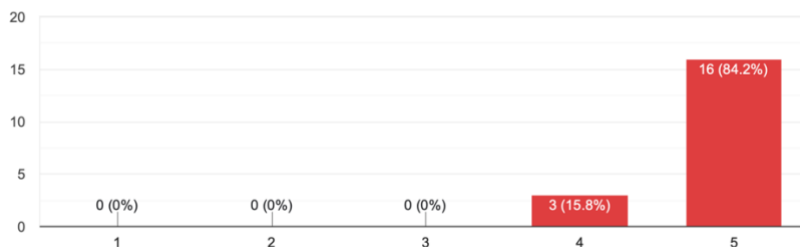
この講習会は他の人に薦めたいですか

19件の回答



今後も同じような講習会があれば参加したいですか？

19件の回答



#### ▼障がい者の語りはいかがでしたか？

障がい者自身が努力されている様子、当人がもがき苦しんでいると感じさせない前向きな行動に同感した。

なかなか正面きって聞けない、貴重な自身の状態経験と共に、競技時にはどのようなサポートをして欲しいなどを具体的に聞けるとなおよかったと思いました。

健常者からは想像できない内容でした

仕事から様々な障害がある方と接しておりますが、障害をかかえながらスポーツに関われることは、とても素晴らしいと思いました。

誰でもが突然障害者となる可能性があることを改めて認識しました。今回の講習テーマとの関連性がより濃い内容であれば、さらに良かったと思います。

大会を運営する立場として、当事者の考え、意向が非常に参考になりました。特にトライアスリートでいらっしやった立場、目線からの発言は重みがあり、今後の参考としたいと思います。

昨年の大会で何度かお目にかかっているし、トランジで対応したりもしていたけれど、障害の経歴やだからそのサポートの要否(どういう場でサポートが欲しいか、どの様にサポートしてくれると助かるか、も含めて)の一端が垣間見えて、大変勉強になりました。

これからは、必要なサポートを伺ってからそれ以上の余計なサポートをしない様に心がけます。

障がいを持つことになった経緯からその後の心情まで詳しくお話していただき感謝します。普通にスポーツを楽しんでいる中で突然障がいを持つことになった時の心情を考えるととても耐えがたい気持ちになります。

今後も困難を乗り越えてスポーツを楽しむ人を応援していきたいと思います。

とても参考になりました。

身近なところでも起きてしまう事をしりました。ケガや病気にならないよう予防する事が大事ですね。

実際に障がい者の話を聞かなくてはわからない事が沢山あったので、大変勉強になりました。

ご自身の体験をもとにお話しされたことで苦労や問題点を理解することができた。

浜田さんの話は、非常に興味が湧きました

人それぞれに障がいを持つことになった経緯は違い、その事に向き合うことについて、ご本人からお話を聞くことができ、よい経験を得ることができました。

特になし。

障害は人それぞれなので、お話が聞けて良かったです。

当事者の生の声は、説得力が上ります。もっとレースでの良かった点、改善点等の声もお聞きしたかったです。それにしても時間が経つのが早い。時間が足りない(笑)

障がいを持つこと、身近と感じていましたが、更にそう感じました。最新技術を導入する姿勢、見習いたいと思いました。

#### ▼SEA 体験はいかがでしたか？

実体験は良かった。実際はウエットな状態で行うのでこれ以上に気配りも重要に感じた。

初体験で、貴重な体験でした！

人ってあんなに重いんだと実感できました

要救助者の訓練で、同じような動作がありまして、振り返りにもなりました。

全員が実技を体験できる時間があればより良かったと思います。また、海が近いので水中からのSEA 体験ができるともっともっと良かったと思います。

とても勉強になりました。関東近県で連携して、定期的を開催していけるといいなと思いました。ぜひよろしくお願いいたします。

サポートされる選手になってみて感じたことを、サポートする側に回った時に実践できる様にと思ったが、なかなか思うように動けなかったのが残念でならない。もう一度挑戦したい！

尚、SEA に選定されるにはどうしたら良いかについても教授願いたい。

SEA の第一人者に展示や指導をいただき、たいへん有意義な機会でした。練習を重ねて障がい者の方のスポーツ参加のお手伝いができるようになりたいと思います。

体験をしてみて、思ったより難しかった。

自分では出来ると思っても、皆の呼吸が合わないと上げる事が出来ない難しさを経験しました。今後もSEA を経験していければと思います。

見た感じや資料を読む限りでは簡単に思えたのですが、コツやポイントが多くてびっくりしました。時間を取って学ぶ必要があることを強く感じました。

陣川さん、宮城さんの実体験に基づく講習は有意義でした。

全員が何らか体験をすることができるとよかったかなーと思いました。

復習になった。

時間が足りなかった

経験者として復習が出来ました。レジェンドからのポイントレクチャーは非常に有意義でした。

時間がなかったですが、未経験者は全員体験出来ていなかった？

実際に体験できて、学びの機会となりました。実際の活動の際には臨機応変が求められると感じ、大会で経験を積みたいと思いました。

#### ▼次に企画される場合、どのようなことを学びたいですか？

集合座学プラス実践での指導。

SEA の他にパラでしかできない仕事を体験したい

定点の審判活動における注意点

水難者救助、救急救命など不測の事態への対応方法

今回よりさらに実践的な SEA 実技講習(水中からも?)やスイムレスキュートレーニングなど。

1. もう一度 SEA の体験をしっかりとしたい。

2. 技術講習の内容を増やして、一日かけてしっかりと学びたい

今回の技術講習は学びの動機づけになりました。いろいろな機会を捕まえて学んでいきたいと思いません。

ルールの基礎知識

まだまだ学びたい事が沢山ありますが、自分自身経験が浅いので学びたい事を書き出せない状態です。

まだまだ学ぶことが多すぎるのですが、とりあえず本番に向けてスイム、バイク、ランの審判員としての基本を学びたいです。

スイムの陸上監視でのポイント。陸上監視で危険な状況を発見した場合の対応。ライフセーバーが見ているとは思いますが。

昨年のバイク事故からどのように改善するのか？グループワークで考えて案を発表とか、いろいろな意見を聞けたらよいかと思いました。

ラン・バイクのコース作りについて、トランジでの審判の注意点等について

個々の障がいにおける特性や実体験を基にした具体的なサポート例。(エイジでの事例)

資格をとったばかりなので、全てを勉強したいです。

コース設営等のいろいろなケーススタディの技術講習会



SEA の経験談を聞きたいです。

▼イベント全体についてのフィードバック、改善点や質問などがあればご記載ください。

パラトライアスロンではアスリートの障がい配慮があるが、審判、ボランティアなどスタッフ側に障がい者がいるときの運営方法を一考してはどうでしょうか。健常者がやってあげてる感がある。

講師の皆さん、語りたいた事がたくさんあって、時間が足りませんでしたね。大変有意義な機会なので、例えばシーズンオフに何回かに分けて実施したりするとよいのではないかと思います。

パラトライアスロン競技全体の中での TO としての一連の仕事量が知りたい

内容が盛りだくさんで、時間が足りないように感じました。日程を 1 日にする、2 回に分けるなどして、実技体験の時間を十分にとっていただきたいです。

上の方でも書きましたが、関東全体で、都県連携して定期的に(春の横浜の前、秋の海の森と千葉の前など)こうした有意義な講習が開催できるといいなと思いました。ぜひよろしく願いいたします。

色々な準備を有難う御座いました。

大変勉強になると同時に新たな発見が沢山ある研修会でした。

午前の内容も豊富だったので反芻する時間が取れば理解が更に広がると感じましたし、午後の内容も濃かったので SEA だけにしても良かった位で、技術講習は別日にもう少し時間を掛けてじっくりとやりたいと思いました。

例えば、AQ や TRI の設営日に実際に設営しながら Q&A 形式で説明するなどの対応ができる様でしたら(一日で全ての箇所ではなく何度かに分けて個所毎に実施することが出来る様でしたら)是非お願いしたい処です。

SEA 体験と技術講習について満足度4としましたが内容的には満足しています。もう少し時間をいただきたいかったのが理由です。

2017 年に横浜トライアスロンのパラバイクの練習のボランティアをやったのですが、まだまだパラについて勉強していく事が沢山あり、色々経験していきたいと思いました。

技術講習は回答の前に反省会や議論する時間があると良かったと思いました。自分たちが考えたことのどこが問題であったかを話し合う時間です。

技術講習については追加情報をありがとうございました。実際に体験することの大切さを学びました。継続的に開催されると嬉しいです。

コース設定についてですが、もう少し時間が欲しかったと思いました。まずは、机上で皆さんと考えてから、図面に落とす。それとともに、疑問点はスタッフに確認してクリアするなど、現場に出たら図面とは違うかもしれませんが、グループの統一感が欲しかったです。

楽しかったです。また、開催をお願いします 🍀

短時間で内容の濃い講習会でした。企画をしていただきありがとうございました。

もう少し時間をのばして、SEA の講習やコース作りの実技をやるのもよいかと思いました。

ただ、あの短時間でたくさんのコース作りのポイントを知ることができ、とてもよかったです。



機材手配の関係もありますが、せっかく海の森という環境だったのでハンドサイクル、レーサー、タンデムバイクなどの乗車体験ができるとよりよかったです。

初心者なのでSEAって海の事かトライアスロン用語だと思ってて、  
パラスポーツ指導員での活動をしているので、少しは分かるんですけど、色んな障害の方がいるので、その時にならないと分からない事がいっぱいあると思います。

あと、時間が足りないと思います、朝からでも良いのですまた同じ内容で開催して下さい。

講習会の内容および量を考えると、もう少し時間を長くしても良かったのでは。午前中座学、午後実習等

※昼食は持参で(笑)

SEAをぜひ経験して、サポートできたらと思いますが、横浜ワールドトライアスロン以外にどちらで活動する機会がありますか。

以上